

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体等を紹介します。

笠間稲荷 囃子保存会

代表者 田代幸二(笠間)
設立 昭和41年
会員 50名



会員の皆さん



田代幸二さん(会長)より

先人が残してくれた大切な文化を受け継いだ私たちは、この「稲荷囃子保存会」を大切に守りつつ、この時代だからこそ郷土芸能を一層発展させたいと日々活動をしています。しかし、郷土芸能団体が持つ共通の悩みである会員の減少という時期もありました。現在は会員の協力もあって着実に増え、年間20回以上の公演を行っています。また、海外でも好評を博したことは、大きな自信につながっています。ただし、それに満足することなく、自身の目標を持って自分に厳しく、人にやさしく、そして「自分が楽しくなるには、まず周りの人を楽しくさせる」ことを忘れずに、誰からも親しまれる保存会を目指していきたいと思っています。毎週火曜日、笠間公民館にて午後7時30分から練習しています。一度太鼓の音を耳でなく肌で感じてみませんか。

ふるさとの心を大切に

私たちのふるさと笠間は長い年月の中に、時には埋もれてしまいそうな伝統や文化が、歴史と共に積み重ねられています。この会は、かつては生活の中で神々への祈りと共に捧げられていた「おはやし」を掘り起こし、収集し、次の世代へつなげていくことを目的に昭和41年、門前商店街の有志を中心に発足しました。季節の行事、お祭り、キャンペーン、行政や観光事業、時には文化使節として、遠くは海外等でも演奏活動をしています。「楽しくなければおはやし会じゃない」を合い言葉に毎週1回、練習を重ねています。幼稚園児から団塊の世代まで、男女を問わず幅広い年齢層で会は運営されており、常に楽しく、そして元気にふるさと笠間の素晴らしさを受け継ぎ、伝えていきたいと思っています。



パリのポンピドー広場にて3匹のきつねが太鼓を打ち鳴らす



ひょっとこ踊りを披露する子どもたち(八坂神社祇園祭)



囃子のリズムに合わせ踊りを披露(八坂神社祇園祭)



ハワイホノルルフェスティバルにて公演